

2018年9月3日

BIM-FM PLATFORMのソリューション開発を加速

BIM建築確認申請およびBIM連動積算ツールを実現

スターツコーポレーション株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：磯崎一雄）と同グループで建設・土地活用コンサルティングを手掛けるスターツCAM株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：直井秀幸）は、昨年2月に発表した、BIMのビッグデータを活用し、建物の事業計画から設計、施工、維持管理までを一貫通貫でマネジメントできるサービス「BIM-FM PLATFORM」における各種ソリューション開発を加速させております。



■建物の情報コンビナートをつくる

スターツグループでは、BIM（Building Information Modeling）を用いて、「建物の情報コンビナートをつくりあげる」という発想のもと、建物の構成要素をデータ化、加工、高度に活用する「BIM-FM PLATFORM」を構築してきました。その実現のため、大きく3つの取組み（1）トータルBIMサービスの構築、（2）データ連携技術の開発、（3）ソフトウェア開発を行なってまいりました。

事業計画・投資判断フェーズでは、AIを用いてマーケットデータ等と連動し、建築・事業計画を約15分で行なう「AI建築事業計画サービス」を開発。企画設計・シミュレーション・詳細設計フェーズでは、「ハイクオリティVR（バーチャルリアリティ）」や、作業時間を約1/40に短縮する「建築見積の自動化」等を実現。施工計画フェーズでは「鉄筋BIMモデル」や時間軸を入れた「4D施工計画」などを活用。また、既存建物のBIM化による、「FM（維持管理）活用コンサルティング」も行なっております。

さらに、BIMデータから受発注を行なうe-commerceとの連携も検討を始めており、これが実現すれば、設計・見積・受発注の同時進行によるスピーディーな取引が可能になります。

BIM-FM PLATFORMではこうしたBIMデータを活用したソリューションを次々と開発しています。

スターツグループは今後も、「**建物はすべて、データになる。**」そして「**建物のデータは、無限の資源になる。**」をコンセプトとして、BIM-FM PLATFORMにBIMデータを用いたソリューションを充実させていくとともに、様々な企業様とオープンイノベーションで開発に取り組んでまいります。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

スターツコーポレーション株式会社 <http://www.starts.co.jp/> 広報：島村

E-mail：group-pr@starts.co.jp TEL：03・6202・0380（直） FAX：03・6202・0333

BIM-FM PLATFORM

事業計画から維持管理まで、
BIM-FM PLATFORMでは様々なソリューションを開発しています。
詳細は <https://bim-fm.starts.co.jp/> へ



AI建築事業計画サービス



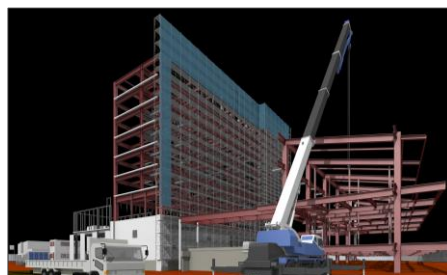
BIM→CG連携



ハイクオリティVR



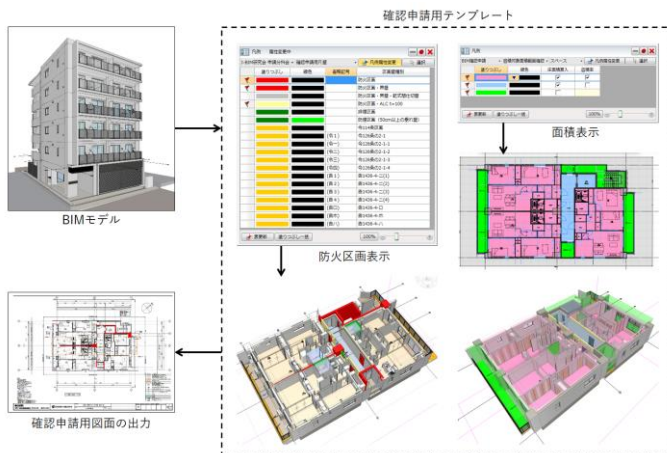
鉄筋BIMモデル



4D施工計画



BIM-FMシステム



■ BIMによる建築確認申請を実施

スターツCAM株式会社及び日本ERI株式会社、福井コンピュータアーキテクト株式会社が連携し、J-BIM研究会（GLOBEユーザー会）の確認申請分科会の活動の一環でBIMによる建築確認申請を実施。1号建築物（特殊建築物・共同住宅）での建築確認済証を取得しております。

BIM建築確認申請の実現によるメリット

- ・ 確認審査作業の効率化、見える化
- ・ 一部審査の自動計算利用（GLOBEネイティブデータ利用）
- ・ 設計BIMデータの活用による2重作業（設計図面と、確認申請用図面の両方を作成すること）の防止

■ BIMと連動する積算ツールを開発

作成したBIMモデルから自動で建築積算をおこなう「INTEGRAL-BIM」を開発。躯体、鉄筋、設備等の積算ツールと連動して建築物全体の自動積算を実現しました。

「INTEGRAL-BIM」の利用によるメリット

- ・ 建材の数量拾い作業を削減
- ・ 見積書作成までを自動化
- ・ 作業時間の大幅な短縮（20人工→0.5人工）

